


令和2年度 磐田市の予算と事業

◎財政課 ☎0538-37-4883 FAX0538-37-4876

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内で行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。これから磐田市が何を目指し、どのようなことが行われていくのか、今年度の予算を主な事業とともに紹介します。


市の予算総額

1,354億7,031万円

前年度比：1.7% 

一般会計


669億7,000万円

前年度比：0.5% 

福祉や教育、道路整備など特に生活に関係の深い基本的な事業の会計。子育て支援の充実や、頻発する自然災害に対する防災・減災対策などの取り組みをさらに進めることから、昨年度に引き続き合併後最大の予算規模になっています。

企業会計


367億5,965万円

前年度比：6.1% 

特定の事業を、その事業収入で運営している会計。市には水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の3つがあります。

特別会計

317億4,066万円

前年度比：0.5% 

国民健康保険税など、特定の収入で運営する事業で、収支を明確にするため、一般会計と分けている会計。市には8つの特別会計があります。

※各会計予算は市役所本庁舎および各支所の市政情報コーナー、各市立図書館、ひと・ほんの庭 にこっとで閲覧することができます

基本目標

より暮らしやすい磐田市へ！ 市民第一で、さらに挑戦する磐田

市政の目指す姿



総合力ナンバーワンを 目指したまちづくり

生活に密着した取り組みを進め、全体のバランスの取れた「総合力ナンバーワンのまち」を目指します！

持続可能な行財政基盤の確立

人口減少による税金など収入の減少にも対応できる体質、組織、財政の仕組みを構築します！



将来を見据えた 成長・発展の基盤づくり

次の時代へ引き継ぐための成長戦略、将来の発展につながる取り組みを着実に実施します！

**地域で頑張る皆さんを
応援するまちづくり**

磐田市では、一人でも多くの市民に「磐田っていいな」、「磐田は住みやすい、暮らしやすい」と思ってもらえる「まちづくり」を目標にしています。

市民が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、また地域で頑張っていたらいている方々を少しでも応援するため、補助制度・支援制度の創設や拡充に取り組んでいきます。

新たな時代の幕開け

今年新たな時代の幕開けというべき2020年代の始まりの年です。3月にJR御厨駅が開業し、ながふじ学園一休校が来年4月に開校を予定するなど、都市基盤の整備が形となり、大きく進む年となります。

また、令和2年度は合併から15年目を迎えます。合併20年に向けてさらなる飛躍の年となるよう、これまで歩んできた歴史を引き継ぎながら、市民の笑顔があふれ、明るく元気なまち「磐田」を目指し、施策を進めていきます。

令和2年度当初予算の中から、主に新規事業や拡充事業を中心に4つの優先施策に分けて紹介します。

4つの 優先施策

子育て支援・教育 の充実

地域づくりの推進と 福祉の充実

市民生活の 安全・安心の確保

産業の育成と 都市基盤の整備

子育て支援・教育の充実

- 1 **ながふじ学府一体校の建設推進・完成** 29億8,192万円
令和3年4月開校に向け建設工事を進めます。
- 2 **向陽学府一体校の基本構想・基本計画に着手** 500万円
向陽学府の一体校整備に向け、地域・保護者の代表などによる検討会での協議をもとに、基本構想・基本計画を策定します。
- 3 **東部地区子育て支援センターの建設** 6,526万円
子育ての負担軽減や、子育てしやすい環境づくりを促進するため、東部地区に子育て支援センターを新たに整備します。
- 4 **病児保育の開始** 1,709万円
子育て家庭への支援をさらに推進するため、病気の回復期に至っていない児童を預かる「病児保育」を新たに実施します。
- 5 **こども園・小規模保育施設整備への補助** 3億7,536万円
保育ニーズに対応した受け入れ体制の充実を図るため、こども園および小規模保育施設の新設に係る整備費を補助します。
- 6 **民間園の保育士宿舍借り上げ支援制度の実施** 1,080万円
増加する保育ニーズに対応するため、保育士の確保対策として、新たに民間園の保育士が宿舍（アパートなど）を借りる場合の家賃補助制度を創設します。



ながふじ学府一体校
イメージ



子育て支援センター

市民生活の安全・安心の確保

1 豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備 3億5,004万円

豊田支所を防災備品などを受入・保管する拠点施設として改修することにより、防災力の強化を図るとともに、アミューズ豊田および豊田福祉センターの改修を併せて進めることで、市民の利便性の向上と施設の有効活用を進めます。

2 海岸堤防の整備推進 7億8,593万円

第4次地震被害想定レベル2の津波に対応する海岸堤防の整備を引き続き推進します。

3 高齢者の自動車急発進抑制装置設置への補助 100万円

アクセルとブレーキの踏み間違いによる高齢運転者の重大事故を未然に防ぐため、自動車への後付け急発進抑制装置の設置に対する補助制度を創設します。



海岸堤防の整備

地域づくりの推進と福祉の充実

1 (仮称) 磐田市文化会館の建設推進 12億5,076万円

令和4年開館に向け建物本体の建設工事を進めます。

2 (仮称) 竜洋西会館の建設 6,260万円

竜洋交流センターのサブセンターとしての役割を果たす施設として、(仮称) 竜洋西会館の建設工事を進めます。

3 骨髄移植ドナーへの助成制度の創設 105万円

骨髄移植への理解と骨髄ドナー登録の推進を図るため、骨髄などの提供を行う市民に対する助成制度を創設します。

4 認知症高齢者等の損害賠償責任保険制度の導入 46万円

認知症高齢者などが事故で第三者に負わせた損害を補償する賠償責任保険に、市が保険契約者となり加入します。



(仮称) 磐田市文化会館
イメージ

産業の育成と都市基盤の整備

1 今之浦市有地・今之浦公園の一体的な公園整備 10億3,502万円

今之浦公園および今之浦市有地を、新たな交流、にぎわいづくりの拠点とするため、イベントスペースなどを設置した一体的な公園として整備します。

2 新東名磐田スマートICの設置推進 4億4,371万円

早期供用開始に向け、高速道路との連結工事やアクセス道路工事、案内標識設置工事などを実施します。

3 特産品(海老芋)承継事業の実施 280万円

市の特産品である海老芋の栽培農家の減少・高齢化に対応するため、JAや生産者などと連携し、担い手育成や承継事業の仕組みを構築し日本一の産地の維持・拡大を目指します。



特産品(海老芋)承継事業